

胃集検通信

〔日本消化器集検学会関東甲信越地方会機関紙〕1部頒布定価1,000円(千共)

題字・黒川利雄先生

NO. 31

発行所 日本消化器集検学会 関東甲信越地方 (〒111)東京都台東区浅草橋2-28-7 野田ビル 発行兼 関東甲信越地方会 編集者 編集委員会

二月二日、高松宮妃病研究基金学術賞を、白壁彦夫博士と共に受賞した。誠に光栄なことであった。

視点 がんは無症状の病

世話人代表 国立がんセンター名譽院長

二月二日、高松宮妃病研究基金学術賞を、白壁彦夫博士と共に受賞した。誠に光栄なことであった。和田武雄理事長からは、「遅きに失し」など、恐縮するようなお言葉をいただきましたが、杉村隆選考委員長が挨拶の中で、「この二重影法の開発と普及により、何万人の生命を救った」と言われたときには、「……」と言われたときには、永年集検に従事して腕を磨き、世界に冠たる胃癌の治療成績を築き上げて下さった多くの医師や技師の皆さんの顔が浮び、ありが

多く、同時に、やっぱり検診だの気持ちが一層強くなつた。退官後、一般市民や会社の健康講座、健康まつりなどでお話をする機会が多くなり、その度に、がんはそもそも自覚症状のない病気だから、検診が大切といくら言っても、固定概念化された知識を変えさせることは、如何にも難しいことだ。ある有名会社の社長は「大相撲の名島海のような立派な体で精力的に活躍されている人が、」どうも家内が顔色がわる

市川平二郎 「いや、忙しくて、また、いづれ……」 「でも、奥さんの病状を聞く時間が五分延びたと思つたら、五分位でできる検診ぐらい受けられて行つたらどうでしょう」 「エッ、五分でできる検診があるんですか」 「そこで先づ、超音波検査を受けることになりました。検査した医師が驚いた。なんと、肝臓にコブシ大のがんが見つかったのだ。そのまま放つておいたら、先づ三カ月の生命だろ。早速がんセンターで紹介されて手術。肝臓内転移もあり、全部は摘出できなかつたが、九〇%以上は除去できた。残つた転移が再発を繰り返すので、その都度、様々な治療を受けて来ましたが、結局はこの世を去ってしまつた。最初に発見してから五年半が過ぎていた。

「先日はお忙しいところを御出掛け下さり、よく判るようなお話をしてくださつたので、一同大変感銘を受けました。」

WHOはこのほど、本年四月七日の第四六回世界保健デーのスローガンを「Oral Health for A Healthy Life」と定め、加盟各国に通知した。「健やかな生活は口腔保健から」と訳して使うことになっている。世界保健デーは一九四九年に始まつた今年で四六回目にあたり、歯科保健に関する内容がテーマとして取り上げられたのは初めて。

「たばこは税金、地方税を合わせて二兆円。たばこによる火事の被害は、火災原因の第三位で、巨額にのぼる。たばこ税のために、政府は国民の健康を害するたばこの取締りをためらっているのではあるまいか。禁煙運動は一部熱心な人たちが医師に任せられている。世界保健機関(WHO)が各国に求めていた「たばこ行動計画」を策定して、即刻具体的な行動を起すべきではないか。」

「国立がんセンター 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話」

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

肺がんが胃がんを抜く

肺がんが胃がんより多い。四二七人とまだ胃がんが三、〇九三人多いが、平成四年の一月から六月の差である三、四二二人に比べると肺がんは縮小している。肺がんが胃がんより多い。北海道、東北の一部及び西日本に多く、特に四国、九州では全県で肺がんが多くなっている。女性は肺がんの死亡数が胃がんより多い。胃がんは昭和四五年以降、概ね五年ごとに一〇ポイントずつ低下したのに対して、肺がんは概ね一〇年ごとに一〇ポイント上昇した結果、両者の年齢調整死亡率の差は昭和二〇、三〇年代八〇/九〇あったものが、急速に縮小し、平成四年では一・六となった。女性的場合も男性と同様の傾向を示しているが、胃がんの減少度が男性よりも鈍く、一〇ポイント低下するのには男性では約五年であるが、女性では約一〇年と二倍かかっている。しかし、男性と同様に近い将来、肺がんが胃がんの逆転が予想される。

肺がん死が胃がん死を抜くということは当然予想されたことだ。昭和三〇年から四〇年にかけて喫煙率が高くなっているのに、そのツケが表われたものといえる。しかも、肺がんは発見率も悪ければ治癒率も悪い。今後ともその差は広がるものとみられる。

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

肺がんが胃がんを抜く —男性のがん死亡率—

厚生省統計情報部がまとめた人口動態統計月報(概数)によると、昨年一、六月の上半年期累計で男性の肺癌死亡が胃癌を二七〇人上回っていることが明らかになった。胃がんは長い間の検診などで、早期発見や治療が大いに進んだのに対して、肺がんは発見しにくいのが日本人の喫煙率が高いことなどがその要因である、とみられる。

統計情報部のまとめによると、平成五年一月から六月までの男性の肺癌死亡は、一四、九八一人に対して胃がんは一四、七二一人と、肺がんが二七〇人上回った。胃がんは一月と三月に前年を上回っているが、その他の月では減少している。一方、肺がんは一月に二七一人増加したのをはじめ、一月から六月までの全ての月で増加している。女性では、平成五年一月から六月の累計で胃がんが八、五二〇人、肺がんが五、四二七人とまだ胃がんが三、〇九三人多いが、平成四年の一月から六月の差である三、四二二人に比べると肺がんは縮小している。

胃がんは昭和四五年以降、概ね五年ごとに一〇ポイントずつ低下したのに対して、肺がんは概ね一〇年ごとに一〇ポイント上昇した結果、両者の年齢調整死亡率の差は昭和二〇、三〇年代八〇/九〇あったものが、急速に縮小し、平成四年では一・六となった。女性的場合も男性と同様の傾向を示しているが、胃がんの減少度が男性よりも鈍く、一〇ポイント低下するのには男性では約五年であるが、女性では約一〇年と二倍かかっている。しかし、男性と同様に近い将来、肺がんが胃がんの逆転が予想される。

肺がん死が胃がん死を抜くということは当然予想されたことだ。昭和三〇年から四〇年にかけて喫煙率が高くなっているのに、そのツケが表われたものといえる。しかも、肺がんは発見率も悪ければ治癒率も悪い。今後ともその差は広がるものとみられる。

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

がんの減少度が男性よりも鈍く、一〇ポイント低下するのには男性では約五年であるが、女性では約一〇年と二倍かかっている。しかし、男性と同様に近い将来、肺がんが胃がんの逆転が予想される。

肺がん死が胃がん死を抜くということは当然予想されたことだ。昭和三〇年から四〇年にかけて喫煙率が高くなっているのに、そのツケが表われたものといえる。しかも、肺がんは発見率も悪ければ治癒率も悪い。今後ともその差は広がるものとみられる。

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

「国立がんセンター」 中央病院疫学部長 渡辺昌氏の話

だけど がん保険だけでは がんは防げません。 例え 緑黄色野菜を いっぱいとる。 (がん)の予防に有効な12か条 があります。ご参考までに。 1食卓は彩り豊かに2毎日変化に 富んだメニューを3食事の量は腹8 分目、脂肪はとりすぎない4お酒は ほどほどに5煙草はひかえて6ビ タミンと食物繊維はたっぷり7 塩分は少なく、熱いものはさまして8 焦げた部分は食べない9カビのはえた ものには要注意10日光にはあたりす ぎない11適度なスポーツでストレス 解消12体はいつもキレイに清潔に。 (国立がんセンター提唱)

高齢者もぜひ検診を —70歳以上に多い胃癌死—

第四七回関東甲信越地方会(二月一九日、千葉)特別講演で、岐阜大土井偉教授は「胃集検の現況と課題」について次のように話した。「胃がんの死亡率は減っているが、これは早期発見による治療率が上がっているからだ。死亡者は高齢者が多い。七〇歳を過ぎて検診を受けるように、これはその抄録である。」

限局性なら77%生存

胃集検は、胃がん死亡率を減らすという発想だ。また、胃集検によって得られた初期の病態を診断医あるいは臨床病理にフィードバックして進歩したという二つの面がある。

目標値はどこか。限局性であれば、胃がんだらたら八六・七%の生存率が得られる。なにもしないではおけば四八・九%。ここまで上げられるのが胃集検の役割だ。それに引き換え、肝臓がんは限局性であっても一八・二%、なんにもしなくても一・八%だから、どこへ目標をもつていったらいいのか、見当がつかない。

がんの二〇%は胃がん

では、実際に、胃がんの死亡数が減ったかというところで、一九七二年から九一年、二〇年間の死亡実数をみると、七二年が四万九千九百人、二〇年経っても四万七千人。わずかに減っていない。今まで胃集検を一生懸命やってながらなんでもないことになり、その数値の裏には日本における高齢化の問題がからんでいる。

罹患者は減らない

いろいろな推計が疫学の方たちから出ている。胃がんの罹患者。現在私たちが胃がんは半分死ぬと理解している、死亡数の倍くらいは患者がいるだろうと思われている。即ち五万人死ぬのだから一〇万人の胃がん患者がいるだろうと推計の基になるデータはがん登録だ。がん登録は日本では二七都道府県が実施している。宮城県は古くからがん登

高齢者も検診を

年齢別に見ると、若い方が五年相対生存率はいいいが、八〇歳になっても六九%という高い五年生存率を得られる。即ち「七〇歳を超えたから胃集検を受ける必要はない」ということではないわけで、七〇歳代、八〇歳代であってもがん検

録がなされている。登録された罹患者からみると、二〇〇〇年には男八万八千九百九十九人の患者、女は三万八千四百七十五ということ、合わせると十万二千九百七十四人の患者が存在すると推計できる。

追跡調査を確実に

昔から私たち読影の精度管理は非常に厳しくされてきた。「それ、見落としたり」とか、「読み過ぎだ」とか。しかし、胃集検の効果を判定する場合、精度管理は読影者だけでは足りない。また撮影技術がいいの、悪いのという問題でもない。むしろ受診年齢とか、啓発活動が十分行われているとか、精検を一〇〇%受診させるとか、こういう所が大きいかかわってきているという

肺がんが胃がんを抜く

一九九〇年のデータによると、日本人のがんトップ七つでは、男性は胃がん、肺がん、肝臓がん、大腸がん、膵臓がん、食道がんの順序で、子宮がんは消えている。それほど子宮がんの死亡率は減少した。

骨髄バンク

「骨髄バンク全国大会'93」が二月一日、東京・新宿区の早稲田大学大隅記念講堂で開かれた。

六〇代の男性に受診増

横浜 セット検診の実施で

第四七回関東甲信越地方会(二月一九日、千葉)一般演題で、横浜市立市民病院がん検診センター吉田富子さんは「セット検診の企画実施についての検討」と題して次のように話した。「セット検診では六〇代の男性に受診率の向上がみられた。がん検診を中心にした人間ドックも期待できる。これはその抄録である。」

六〇歳代が効率的

当センターでは複数のがん検診を組み合わせて同日受診可能なセット検診を企画実施したので、その経過と実際について報告する。これは昭和六二年から平成元年に当センターで受診した人の受診項目の組み合わせと、おのおのの発見が患者の年齢、性別の分布を示した表である。最も組み合わせの多いものを丸にするし、がん発見率の高い年齢層を斜線で示した。男性は六〇歳代が各検診項目と

セット検診を実施

セット検診は複数検診の同日受診として現在センターで実施しているものをセット検診として内容を充実を図った。

男性の受診率伸びる

男女の受診割合をみると、一般検診の全項目において女性が男性を上回って

いる。しかし、セット検診では男女がほぼ同率になっており、男性の受診率が伸びたことが分る。初診者割合はセット検診受診者の全項目において一般受診者を上回っている。特に、胃がん検診以外の項目についてはほぼ二倍になっている。

人間ドックへ

複数検診の同日受診、がん発見率の向上、初診者の発掘を目的として、セット検診を企画し実施してきた。その結果として、男性六〇歳代初診者の受診率向上に効果が見られた。

一二社が実施

調査は外資系などを除く一二社が実施する。加入者が健康状態などを記入する告知書に、新たに「参考事項」のひとつとして喫煙についての項目を追加する。追加するのは「過去一年以内にタバコを吸ったかどうか」と「一日の喫煙本数」と「一千万の標本を喫煙者と

調査は難しい

生保業界は調査の結果、死亡率などに大きな差が出た場合は、喫煙者の保険料を非喫煙者より高くすることを検討する。

生命保険業界は、喫煙と健康との関連について九四年度から調査に乗り出す

新しく保険に加入する人に対し喫煙しているかどうかをたずね、その後の保険金の支払い状況をみることに、喫煙者と非喫煙者の間で死亡率などに差があるかどうかを調べる。

喫煙と健康の関連 生保業界が調査へ —非喫煙者の要望に対応—

計画、検診の実務はやる。しかし、精密検査の結果については把握していないとか、治療結果についてのレポートはしないとか、予後調査はしないとか、この辺のところをきちんと出来ない限り、がん検診についての精度管理は成り立たない。

微小がんが胃がんのように九〇%の五年率で得られるかというところ、そこまではいいないから、検診の精度向上と同時に治療法の精度向上も必要だ。

日本骨髄バンクでは「今後五年間で一〇万人」を目標にドナー希望者の募集活動を行っているが、目標達成はかなりきびしい。

胃炎・胃潰瘍にセルベックス
胃炎：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期
We need Mucus.

胃炎・胃潰瘍治療剤 (薬価基準収載)

セルベックス®カプセル 50mg/10% (テブレノン製剤)

●ご使用に際しては、添付文書をご参照ください。

B-E,9405

米国では既に多くの生保が非喫煙者に対する保険料の割引制度を設けているが、最近、日本でも契約者の間から、「喫煙者」と「非喫煙者」の保険料が同じなのはおかしい」との意見が出て、これに対応している。

生命保険業界は、喫煙と健康との関連について九四年度から調査に乗り出す。新しく保険に加入する人に対し喫煙しているかどうかをたずね、その後の保険金の支払い状況をみることに、喫煙者と非喫煙者の間で死亡率などに差があるかどうかを調べる。

調査は難しい。生保業界は調査の結果、死亡率などに大きな差が出た場合は、喫煙者の保険料を非喫煙者より高くすることを検討する。ただ保険加入後に喫煙をやめたり、逆に喫煙を始めるとも考えられ、その追跡調査は難しい。こうした問題があるため「実現までにはかなり時間がかかる」と大手生保との見方が多い。(二月二七日、日経から)



がん遺伝子の解明進む

—対がん十カ年総合戦略—

かかりつけのお医者さん

—平均年齢は60歳—

厚生省、文部省、科学技術庁は共同事業として、「対がん十カ年総合戦略」を五九年から実施してきた。その成果として、がん遺伝子の解明、ウイルス感染後の発症要因を明らかにする、などの作業に取り組んでいる。(成人病のしおり、'93より)

総合戦略の成果は、第一期(昭和五十九年～六一年)、第二期(昭和六二年～平成元年)、第三期(平成二年～五年)の三期に分けて報告されている。以下は各期における、がん遺伝子、発がんウイルス、予防、診断、治療の概要である。

がん遺伝子第一期の成果

- ヒト胃がんより、新しい遺伝子p53を発見し、その構造(塩基配列)を決定した。
- ヒトがんにおける、がん遺伝子の増幅を証明した。
- がん遺伝子C-Ha-rasの遺伝子産物であるP21タンパク質の結晶化に成功した。

第二期の成果

- がん遺伝子p53の遺伝子産物は強力な増殖因子であることを解明した。

診療所の医師の平均年齢が初めて六〇歳を超え、医師三にうち二人が病院勤務であることが、厚生省のこのほどの調査で分かった。これは昨年十二月三十一日現在で医師、歯科医師などの実態を調べた。医師数は過去二年間で約八千人増え、約二二万人になったが、診療所の医師は約六百人しか増えていない。医師は余っているといわれながら、「かかりつけ医師」は依然不足の道をたどっている。

医師からの届け出をもとに、昨年十二月現在の医師、歯科医師の実態をまとめたもの。八四年からは二年に一度の調査になった。

医師は二二万人

全国の届出医師数は二一九、七〇四人で、平成二年(以下前同)に比べ、七、九〇七人、三・七％増え、人口一〇万対医師数は、一七六・五人で、前同に比べ五・二人増えている。

業務種別みると、医療施設の従事者は二二一、四九八人(総数の九六・三％)で、前同に比べ七、七〇一人、三・八％増えている。老人保健施設の従事者は三四九人(同〇・二％)で、前同に比べ一四五人増えている。

性、年齢階級別業務の種別

性別にみると、男一九三、五八九人(総数の八八・一％)、女二六、一一五人(同一一・九％)である。年齢階級別みると、多い順に三〇～三九歳六五、四〇～四九歳四四、二八～三九歳三〇・二％、六〇～六九歳三六・四〇人同二・七％、七〇～七九歳一六・七〇人同七・四％、八〇歳以上二・九歳以下は二九歳以下年齢階級で女性の占める割合が近年急増している。

診療科名別

年齢階級別に業務の種別をみると、四九歳以下の各年齢階級では病院(医療機関附属のものを除く)の勤務者が五〇歳以上の各年齢階級では診療所の開設者が最も多い。

業務の種別に平均年齢をみると、総数は四七・二歳であり、医療施設の従事者は四七・〇歳、老人保健施設の従事者は六二・四歳の開設者のうちでは、診療所の開設者が六〇・二歳と高く、今回の調査で初めて六〇歳を超えた。一方、医療機関附属の病院の勤務者は三五・七歳と低くなっている。

第二期の成果

- 胃がん細胞よりp53という増幅している遺伝子を分離・固定した。この遺伝子の塩基配列を決定し、機能を解明したところ、遺伝子産物は、細胞膜に存在するチロシンキナーゼの受容体であることがわかった。
- がん細胞遺伝子S-mycを発見した。
- P21タンパク質の立体構造を解明した。

第三期に期待される成果

- 発がん各段階におけるがんの遺伝子の変化及び、がん遺伝子と組織型や悪性度との相関を明らかにする。

発がんウイルス第一期の成果

- 成人T細胞白血病の発病要因であるヒトT細胞白血病ウイルスI型(HTLV-I)

第二期の成果

- C型肝炎ウイルス(HCV)遺伝子の塩基配列を決定し、日本型のHCVの存在を明らかにした。

第三期に期待される成果

- ヒトがんの要因であるウイルス(HTLV-I、HBV、HCV等)の伝播様式を明らかにする。
- ウイルス感染後の発症要因を明らかにする。

予防第一期の成果

- 供給血のHTLV-I抗体

従事する診療科名別(重複計上)にみると、多い順に「内科」八八、五五二人(医療従事者の四一・九％)、「外科」三四、一〇〇人(同二六・一％)、「小児科」三三、八三二人(同一六・〇％)となっている。

増加率をみると、「神経内科」一一・八％、「理学療法科」九・六％、「呼吸器外科」九・二％などが増加し、「性病科」一一・四％、「気管食道科」八・一％、「放射線科」四・〇％などが減少している。

都道府県医師数

人口一〇万対医療施設に就く医師数は、全国一六九・九人であり、前同に比べ五・〇人増えた。

都道府県別みると、徳島県二七・一人、京都府二二・五人、東京都二二・五人などが多く、埼玉県一〇・一人、千葉県一四・一人で首都圏周辺が少ない。

業種別に見た数

業務の種別にみると、医療施設の従事者は七五、六二八人(総数の九七・七％)で、前同に比べ三、五四一人、四・九％増加し、医療施設・老人保健施設以外の従事者は七一四人(同〇・九％)で、前同に比べ二四〇人減少した。その他の者は一、〇七三人(同一・四％)である。

年齢階級別業務の種別

性別にみると、男六六、五〇二人(総数の八五・九％)、女一〇、九一五人(同一四・一％)である。年齢階級別にみると、多い順に三〇～三九歳二六、九一五人(同三四・八％)、四〇～四九歳一八、四一五人(同二二・八％)、二九歳以下九、〇二一人(同一一・六％)となっている。

年齢階級別に業務の種別をみると、二九歳以下では診療所の勤務者が四八・九％と多く、三〇歳以上の各年齢階級では診療所の開設者が最も多い。

業務の種別に平均年齢をみると、総数は四五・二歳、医療施設の従事者は四四・九歳で、診療所の開設者が四八・八歳と高く、医療機関附属の病院の勤務者は三三・四歳と低い。

I&IのFUJIFILM

システムで考えたイメージフィルム。

集団検診等に欠かせない間接撮影の診断画像に高精度を求め、富士フィルムが開発した豊富なバリエーションのオルソフィルムです。広いラチテッド、最適なコントラスト、優れた鮮鋭度など、あらゆる面から高感度・高画質を追求したメディカルイメージフィルムです。

富士メディカルイメージフィルム(間接撮影用)
MI-SF/MI-SF II/MI-SL/MI-FX

富士写真フイルム株式会社
総発売元 富士メディカルシステム株式会社
〒104 東京都中央区銀座7-13-8 第2丸高ビル ☎(03)3545-3321(代)

Konica

集団検診に最適なダブルガンタイプと超高感度タイプ

QFは高鮮鋭度で豊かな階調を持った、90秒処理が可能なダブルガンタイプのオルソフィルムです。
●幅広いラチテッドにより、胸部撮影や胃部造影撮影に二使用いただけます。

GSは被曝量を軽減し、超高感度を誇るミラーカメラ専用のオルソフィルムです。
●胸部造影をはじめ、胃部造影撮影に適した写真特性をそなえています。
●超高感度にもかかわらず粒状性に優れ、カブリも少なくクリアな写真が得られます。

QF-PはQFの優れた写真特性を基本にポリエステルベースを採用し、集団検診の作業能率向上に役立つ長尺巻きのL1スポットカメラ専用のオルソフィルムです。

コニカ株式会社
163 東京都新宿区西新宿1-26-2 TEL.(03)3349-5175(代)

コニカX・レイフィルム(間接撮影用)
QF・QF-P/GS

日本人の食文化と食生活

食文化形成についての栄養学

第四回日本疫学会総会(二月二七日、仙台市)特別講演で昭和女子大大学院教授(東北大名誉教授)木村修一氏は、「日本人の食文化と食生活」と題して特別講演した。その中で、食物選択にみる遺伝と環境の項目で「アルコール嗜好性が食塩嗜好の強いラットほど高い」という食塩嗜好とアルコール嗜好の強い関連性が認められた。など、興味あるいくつかを話した。これはその抄録である。

日本原産の食用作物はごく僅か

日本の主食である米は、縄文時代の末期に始まったといわれるが、もちろんこれは日本固有の野生植物を栽培したものではない。よそから伝来したものである。大豆や粟あるいはさといもが、米よりも以前に栽培されていたといわれるが、これとて日本原産というわけではない。日本の農耕は、他国から渡ってきた人々によって持ち込まれてきたものである。日本は現在、世

食物が定着する条件

微なのかしれない。もちろん、伝来するにも、さまざまなケースがあったと思われる。偶然に持ち込まれることもあるし、意図的に移入する場合もあつたであろう。遣唐使などは、珍しい作物を持ち込みに大きな役割を果たしたといわれ、後者の例であろう。いずれにしても、伝来した作物がすべて定着したわけではない。飢餓という条件がドイツにじやがいの

食物選択にみる遺伝と環境

食塩嗜好に関する研究を行ったとき、実験動物としてラットを用いたが、その系統によって、食塩嗜好は大きく異なるのである。例えばSHR(自発性高血圧ラット)という遺伝的高血圧ラットは、大食塩嗜好である。食塩を与えなくても高血圧を引き起こすラットである。しかしこのラットでも食餌中タンパク質レベルを増加させると、食塩嗜好が激減することをわれわれは確かめることができた。この実験の過程で、アルコール嗜好性が食塩嗜好の強いラットほど高いという食塩嗜好とアルコール嗜好の強い関連性が認められたが、食塩の場合と反対に、高タンパク質食でアルコー

唐辛子にみる食文化成立の背景

唐辛子はメキシコ付近が原産地で、コロンブスが新大陸からタバコなどと一緒にもたらした作物である。日本への渡来は室町時代で、唐から、あるいは南蛮船に乗ってギリシヤンパレンとともにやってきたと考えられる。ところが、隣の韓国では日本から渡来したという説が強い、ある地域では「和辛子」と呼ばれているのである。日本と

唐辛子が日本に定着した背景

唐辛子が日本に定着した背景は、食塩が入りやすかったからではないかと考えられる。韓国は食塩が手に入りやすかった。キムチとして定着したのは、唐辛子が入ると食欲を増す一方、ビタミンCが豊富であり、体があたたまるといわれる。唐辛子が日本に定着した背景は、食塩が入りやすかったからではないかと考えられる。韓国は食塩が手に入りやすかった。キムチとして定着したのは、唐辛子が入ると食欲を増す一方、ビタミンCが豊富であり、体があたたまるといわれる。唐辛子が日本に定着した背景は、食塩が入りやすかったからではないかと考えられる。韓国は食塩が手に入りやすかった。キムチとして定着したのは、唐辛子が入ると食欲を増す一方、ビタミンCが豊富であり、体があたたまるといわれる。

最高は北海道 老人医療費の動向

平成三年度の老人医療費の動向のうち一人当りの入院診療費は三万九千九百六十七円。都道府県別にみると最も高いのは北海道五万五千二百九十九円、次いで高知四万六千四百一十八円、福岡四万六千三百八十四円、最も低いのは長野一万九千七百九十九円、次いで山形二万零九百九十九円、栃木二万零九百九十九円、最も高い北海道と最も低い長野の格差は三倍近くになっている。

入院外診療費は二万五千四百九十九円。都道府県別にみると最も高いのは大阪三万五千二百九十九円、次いで京都三万二千九百九十九円、愛知三万零九百九十九円、最も低いのは沖縄一万七千八百九十九円、次いで山梨一万八千七百九十九円、宮崎二万七千九百九十九円、最も高い大阪と最も低い沖縄の格差は二倍以上になっている。

精検受診率96.4%

野田市の胃集検

第七回関東甲信越地方会(二月一九日、千葉)の一般演題で、野田市医師会の青木敏郎氏は「野田市胃集検一〇年間の成績」と題して、次のように話した。「検診率を向上させるためには、啓発活動が重要である。また、早期胃がんを発見するためには検診精度の向上が不可欠である」と。これは、その抄録である。

胃がん発見率0.16%
野田市医師会は、野田市(人口一万人)と協力し、市の胃検診車による胃集検を昭和五九年から平成五年まで一〇年間実施した。その成績と反省点を報告する。胃集検の主な流れは、検診車による移動検診、医師会胃読影委員会による集検写真の読影、精検(二次検診)、治療、追跡調査等である。

一〇年間の総受診者数は、四九、九六四人、受診率平均一六・五%、要精検者数(率)九、〇〇三人(一八・〇%)、精検受診者数(率)七、七七三人(九六・四%)、発見胃がん数八〇人、胃がん発見率〇・一六%、早期胃がん数五三人、割合は五三・八%、六六・三%、

精検受診率96.4%
受診者数は、昭和五九年の三、五三三人から、平成五年は五、九六六人に、受診率は一一・二%から一八・九%に増加した。そのために強力に啓発活動、年八〜一〇回の講演会の開催、未受診理由のアンケート調査、検診の手引を毎年発行などを行った。精検受診率は九六・四%と高く、これは保健センター職員が多大な努力による。発見胃がん数は八〇人、その発見率は〇・一六%である。早期胃がん数とその割合は五三・八%、六六・三%、

精度向上と啓発活動
検診精度の向上のために①消化器病勉強会を年一〇〜一二回、現在までに一〇七回実施。早期胃がん症例の指導を林學、丸山雅一両博士に勉強会の過半数を受けた。②胃読影委員会の発足を促した。

一〇年間の検診成績から、受診者数、受診率の向上のためには啓発活動の重要性を、胃がん発見数および早期胃がん発見率の向上には検診精度の向上への努力の必要性が考えられる。

「かかりつけ医」に 新診療報酬を新設

自宅で過ごす末期がん患者や寝たきりのお年寄りらについて常時連絡がとれる態勢を取っている医師に対し特別に診療報酬を認める方針が固まった。これは厚生省の中央社会保険医療協議会が今年四月の診療報酬改定の中に盛り込む方針である。

常時連絡が取れる
中医協の方針によると、この報酬の支払い対象となるのは、高齢で寝たきりだったり、末期のがんや難病重症の慢性疾患にいつでも駆けつけられるように、医師がポケットベルや自宅の電話を教えるなどして、いつでも連絡が取れる態勢を取ったとき。

容体が急変して、設備やスタッフのそろった病院でなければ対応できない場合を考慮して、あらかじめ紹介する医療機関を決めていれば、「在宅時医学管理料(仮称)」として一括して報酬を認めていく考え。

診療の機能分化
高齢化が進み、がん、脳出血、心臓病、糖尿病など

重症慢性疾患が増えるなど病気の形態が大きく変わってきたことで、厚生省は、病院の機能分化による政策の転換を迫られている。今後は、病気がなると、真つ先にみてもらう「かかりつけ医師」の機能と役割を積極的に評価して行うという考え。

人間的信頼の回復
「三時間待って三分診療」という悪評高い病院中心の現状から、町の診療所の役割をもう一度見直し、「ぬくもりのある医療」を目指している。

そうすることによって、失われかけている医師と患者の「信頼」を取りもどそうというのがねらい。

体調を崩したらまず「かかりつけ医師」に相談し、

第四七回地方会
千葉盛會裡に終る

第四七回関東甲信越地方会は、二月一九日(土)千葉市文化センターで開かれた。

一般演題一二題、特別講演、講話、保健婦ならびに放射線技師のシンポジウムがあり、約三百人が参加し、盛會であった。

技術の日立
これからは

スーパーアイランドです。 HITACHI

検診車へヨコ積みするときでも「60cmの映像系タテスライド」・「逆傾斜45°」と機能を大きくし、さらに「映像系のヨコスライド」を装備して天板のスライドをなくしました。

“設置スペースが絶対的に狭い検診車にスペース効率良く搭載でき、しかも検診効率を良くし画質を向上させる。”

この日立のコンセプトをさらにつきつめたのが「スーパーアイランド」です。

胃集団検診用X線装置
TU-MA5N



都 県 だ よ り

栃 木 県

(受診率一四・六%)

老人保健法に基づく、胃がん検診の状況は、平成四年度で対象者五一一、六三三人に対して受診者数は七四・六五九人で受診率は一四・六%であった。市町村別に見ると、受診率の高い市では三三・七%、町では三二・四%となっているが、低い市町村は八%台であり、県全体では低調である。



山根 則幸

早期胃癌発見日ガンが勝る 平成3年追跡調査で

日本対がん協会は、このほど平成三年度のがん検診(胃、大腸)成績と追跡調査による病期分類をまとめた。それによると胃がんの発見率は〇・一四%、発見がんに対する早期がんとは、胃がん五五・五五%、大腸がんは五四・五五%であることが分った。なお、胃がん発見率は日本消化器集検学会報告よりも日ガンの方が有意に高かった。

学会集計と日ガン比較

日本消化器集検学会と日ガンの平成三年度の胃集検の成績を比較すると、住民は学会が三三三三、六〇三人、日ガンは二二六五、〇六八人。職域は学会が二、五〇九、三二八二人、日ガン六九一、六六八人。学会計五、八四二、九八五人、日ガン二、九五六、七三六人である。

学会全国集計と日ガン成績の比較

Table with 5 columns: 年齢, 受診者数, 要精検率, 精検率, がん発見率. Rows include 市民, 職域, 学会計, 日ガン計.

〇・四九%、〇・〇五%、五〇・五九%、〇・〇九%、六〇・六九%、一・九%、七〇%以上、〇・三三%となっている。

老人保健事業報告

Table with 5 columns: 年齢, 総数, 40-49, 50-59, 60-69, 70-. Rows include 受診者数, 要精検者数, 要精検率, 胃がん数, 発見率.

早期胃癌手術は学会が上 胃がん発見率は日ガンが二・一四%、学会が〇・一三%。大腸がん発見率は日ガンが二・一四%、学会が〇・一三%。大腸がんの受診者は、日ガン五六六、一五八人、学会一、〇五二、五八三人で、その数は一対二である。

大腸癌発見率は日ガン

大腸がんの発見率は日ガンが二・一四%、学会が〇・一三%。大腸がんの受診者は、日ガン五六六、一五八人、学会一、〇五二、五八三人で、その数は一対二である。要精検率は、日ガン六・二%、学会六・〇七%。大腸がん発見率は日ガンが二・一四%、学会が〇・一三%。

薬価基準引き下げ

厚生省は二月七日、今年四月に予定されている薬価基準の改定について、六・六%引き下げの方針を決定した。改定時は薬価で八・一%の引き下げ(医療費換算で二・五%)だった。

例、八〇・四%が集中している。精検受診情報の把握が悪いことが以前から指摘されているが、平成四年度も六六・二%と低率であった。平成四年度から導入された大腸がん検診では、受診者三八、〇三一人で受診率は七・〇%であった。発見がんは三九例で発見率は〇・〇三%であった。

にして全市町村での積極的展開が今後の課題である。(がん集検協議会の活動) 県内のがん集検に係る関係者は、行政、医師会、市町村、検診機関、医療機関等を会員として、栃木県がん集検協議会(会長 小山靖夫、栃木県立がんセンター所長)を組織して、がんの集団検診を推進している。

これら研修会を開催することにより、医師会をはじめ放射線技師会や臨床検査技師会、臨床細胞学会栃木県支部等、多くの関係団体と有機的な連携を深めながら、がん集検に係る諸問題を研究討議して検診を推進している。

これら研修会を開催することにより、医師会をはじめ放射線技師会や臨床検査技師会、臨床細胞学会栃木県支部等、多くの関係団体と有機的な連携を深めながら、がん集検に係る諸問題を研究討議して検診を推進している。

これは半数近くの人のがんは早期に発見された。百人以上の人ががんを治した状態にあると推定される。昔は一度がんになったら他のがんにはならないといわれていた。しかし、早期がんで治る人が増えてくる

二次がんが増えていると聞きますが? A がん患者はそれだけで、二次がんの発生危険があるため、早期がんで治る人が増えるにつれて、別のがんになる可能性も強くなる

各種便秘症の治療に... ラキソベロン錠・液 Laxoberon. (効能・効果) ●各種便秘症 ●術後排便補助 ●造影剤(硫酸バリウム)投与後の排便促進 ●大腸検査(X線・内視鏡)前処置における腸管内容物の排除(液剤のみ)

粘膜炎防御 胃炎・胃潰瘍治療剤 ケルナック カプセル 細粒. 効能・効果: ① 下記疾患の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善 ② 胃潰瘍。 使用上の注意は添付文書をご覧ください。

日本の医療技術は世界一 自信を持って集検を

第一六回消化管撮影技術研修会最終日の二月一三日、市平三郎国立がんセンター中央病院名誉院長は「日本の医療技術は世界一だ。自信を持って集検に当ってもらいたい」と次のように話した。これは、その抄録である。

癌は年齢と共に

がんという病気が圧倒的に年齢と関係が深い。私は聴衆の年齢層を聞くことにしている。どの辺がピークになるのかを聞いて話し方を決める。日本人の中に百歳以上の人が何人いるか？（百人代と思う人、千人とと思う人、三千人代と思う人が答えて止まる。いかに皆さんが認識不足か分る。去年までは四、二〇〇人、去年からは四、八〇〇人なのです。被検者は皆様方の先輩なのです。遠い将来の事だと思っているからです。集検が始って、三〇年はあつという間に過ぎた。あすは我が身と思つて考えていただきたい。

急激に進む治療

幼児のがんは白血病とか

がんは老化と関係

がんは三〇代から四〇代が倍、五〇代は四〇代の倍、六〇代は五〇代の倍、七〇

多重がんふえる

昔は一度がんにかかったら、二度とはかからないと思われた。死亡率と罹患率はイコールだった。だが、今は治るようになった。従つて多重がんがいくつでも

論理はめちやくちや

アメリカの肺がん研究でメイヨウ・クリニクスの調査というのがあつた。検査を毎年やつた群とやらない群とに分けて調べた結果、死亡率に差は無かつたというのである。従つて肺がん検査は意味がないと結論づけた。集検では早期がんをみつ

非血縁者間骨髄移植 100例を超える

「日本骨髄バンク」による非血縁者間骨髄移植は、平成五年一月に第一号が実施されたから、種々の課題をはらみながらも、多くの関係者の協力により、比較的順調に実施され、この二月一〇日に、同財団の当初の目標であった一〇〇例目の移植が行われる運びとなつた。

東北五件、関東三六件、甲信越三件、東海・北陸三二件、近畿一六件、中国・四国二件、九州一件、海外一件となつている。非血縁者間骨髄提供者の状況は男性六九人、女性三三人で、二〇歳代三二人、三〇歳代三五人、四〇歳代三五人（ドナーの資格は二〇・五〇歳まで）。地域別では、北海道八人、東北八人、東海・北陸七人、近畿二二人、中国・四国九人、九州一三人となつている。

投稿 “検診” で命拾ひ

小川でございませう。このたび、七年前の経験について何か感想をとい

おとめてございませうが、何分時間もたつておりますこと、まためにくく困つておりました所、その頃窪田先生へお送りしました感想文が先生のところに保存されておりましたので、それを読ませていただきます。

今年も年の暮も近く、私はこの年の後半が大変早く経つて仕舞つたと改めて振り返り返り本当によかつた安心して気持ちで、今、大勢

の方々のご親切と温かい御心に、心から感謝を致しております。半年程前のこと、主人は六月五日に神奈川県成人病検診センターで検診を受けました。続いて四回にわた

ら、病気の再発の心配はないと仰られ、主人は安心して九月一六日に手術を受けました。私も先づひと安心致しました。その後の回復は早く、九月末には退院の許可が下り

夏は検診から始まり秋は病院で過し、今年恒例の甲府旅行も行けなかつたけれど、かけがえのない主人の病気の治療をする事ができ、残る生涯を主人は健康に留意して、と申してお

放射線 技師部会

国立第二病院へ入院中は、有森先生、海老根先生、菊水先生にお世話になり、先生方のご親切は勿論のこと、外科病棟の看護婦さん方は、日夜細いことまで行

流ではなく、スパー一流である。だから日本の胃がんの死亡率は減つてゐるのだ。ついでこの間、若いタレントがんで死んだ。そうすると二〇代の人

副作用がわかりにくいと批判のあつた、医師らに配る医薬品のパンフレットは六月までに記載方法を大幅に見直すよう、各製薬企業に通知した。

医薬品の医師向けパンフ 副作用をはっきりと

副作用がわかりにくいと批判のあつた、医師らに配る医薬品のパンフレットは六月までに記載方法を大幅に見直すよう、各製薬企業に通知した。

「相互作用」、妊産婦、幼児ら、服用してはならない場合は表紙に記載する。また、パンフレットのデザインで文字が見にくい時は、枠で囲うか、文字の色に配慮し、文字の大きさは一〇ポイント程度以上が望ましいとしてゐる。

Barytgen

バリトゲン ギル 100W/V%包装 (200ml・250ml・600ml・5ℓ)

バリトゲン ギル 120W/V%包装 (200ml・250ml・300ml)

バリトゲン ギル 145W/V%包装 (200ml・250ml)

バリトゲン 発泡顆粒 個人包装 (40包入・50包入) 2.5g・3.5g・4.5g・5g

バリトゲンデラックス 200g×75袋・600g×25袋

伏見製薬株式会社東京営業所
〒181 東京都三鷹市北野2-6-47 TEL 0422-49-2430

X線BaSO₄造影剤

BARITOP

ギル：150%・120%・110%・100%
粉末：バリトP

Balgín

ギル：S2号・バムスター-S130・S3号
注腸専用ギル：ネオダルムギル
粉末：ネオバルギン共成
補助剤：バルギン発泡顆粒・消泡液

Kaigen 株式会社カイゼン
大阪市中央区道修町2丁目5-14
大阪・東京・横浜・大宮・名古屋・福岡・仙台・札幌・広島・金沢・高松

今、OESは頂点へ。

OES30

“OES30”シリーズ。開発コンセプトは、使いやすさ、人に対するやさしさ。観察性能の向上、チャンネル径の拡大、挿入性の向上、耐久性・洗滌性の向上を実現しました。まさに、OESシリーズの頂点、理想型ファイバースコープの誕生です。

■OES30シリーズ

上部消化管汎用ファイバースコープ	十二指腸ファイバースコープ	OES TVシステム
GIF TYPE XQ30	JF TYPE 1T30	OTV-F3
GIF TYPE Q30	TJF TYPE 30	
GIF TYPE P30	大腸ファイバースコープ	
GIF TYPE N30	CF TYPE 30L/I/M	
GIF TYPE 1T30		

オリンパス光学工業株式会社 OLYMPUS オリンパI版株式会社



